

戦争はアカン・平和が一番 非核・平和のための 戦争・原爆展

日時：7/29(土)～30(日)午前10時～

場所：市立総合センター

(池田西町28-22)

(主な内容)

7/29: 写真・資料展など

7/30: ビデオ上映 2時25分～

(午後2時)

(講演) 向江 チツ子さん

海外での戦争に結びつく 国民保護計画作成は違憲

6月議会の総務常任委員会協議会で、中谷光夫議員は、住民の命とくらしを守る立場から、①国民保護計画、②平和資料館の設置、③行財政改革のあり方、④個人情報保護条例などについて質問しました。

中谷議員は、国民保護計画について、アメリカが海外で戦争する周辺事態と結びついて有事発動される可能性を明らかにし、国(政府)の指揮下の計画になることを明らかにしました。

また、わが国を防御する任務が主たる自衛隊員が委員となる問題で、日本軍が住民を殺害した沖縄戦の教訓

市は住民の人権を守れ 中谷光夫議員が六月議会で質問

からも、十分な検討を求めました。

核兵器を含む近代戦争は、本日に国民保護を言うならば、憲法9条を生かした平和外交こそ現実的で重要です。

戦争計画でなく、防災計画、災害対策の充実を要求しました。

市民の願いは 市民のための市政

行財政改革については、困いなのりの、①福祉・教育などの削減

挙げました。

・廃止、②施設運営や業務まで民間に委ねる「アウトソーシング計画」、③府内でも突出

の一時金について、また、課長代理級以上の指摘しました。

の職員削減計画などを批判しました。

また、課長代理級以上の指摘しました。

その上で、中谷議員は、公務員の憲法尊重擁護の義務、「住民こそ主人公」が大前提として①「すべての公務員は、全体の奉仕者」、すなわち市民、住民のために仕事をし、②基本的な人権の中でも、「生存権」、「教育を受ける権利」、「勤労の権利」など社会権を守る、③民主主義の学校といわれる地方自治で、市政への市民の直

接参加を進めることを挙げました。

ととりわけ、教育や福祉分野の退職不補充方針を批判し、必要な職員配置がなされていないと指摘しました。

また、課長代理級以上の指摘しました。

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議会議員団
824-1181
(内線2399)
FAX No. 824-7760
Email: jgpncc@cc-net.or.jp
No. 1948

田中 ひさ子
国松町10-36
☎823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
☎829-9424

宝林 かずえ
国松4-33
☎839-2289

中谷 光夫
高宮155-8
☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

視界

今年4月から介護保険の見直しが行われましたが、改善どころか、①さらなる負担増、②介護サービスの取り上げ、③介護施設整備の抑制等に反して、新予防給付は、サービス利用限度枠を要介護1で2割減、要介護2の人は、4割減。又、今年10月から要介護1や要支援の人は介護ベッドや車イス等福祉用具のレンタルを廃止、ケアプラン作成の報酬等サービス切り捨ての仕組みとなつていきます▼在宅重視といいますが、在宅でのサービスの制限をすすめる、やっとならぬので入所できた施設から居住費や食費の自己負担を押しつけ、高齢者を追い出そうとしています▼地域支援事業も1号被保険者保険料で賄う仕組みになったこともあり、寝屋川市の65歳以上の高齢者の1号被保険者では、05年度予算と比べ7億1600万円もの負担増となつています。サービス利用が多くなればなるほど、保険料負担が増える仕組みになっていきます。問題は、介護保険の導入時に、公的介護の費用に占める国庫負担の割合が50%から25%へと縮小されたことです。今、寝屋川市が行うべきは、国庫負担を引き上げを国に強く求めると、市独自の保険料減免制度を創設することです。



大型開発 見直し 市民が住みつけられる街に

駅前再開発事業中止を 寺本とも子議員が質問

建設水道常任委員会協議会で、寺本議員はまちづくりについて質問を行いました。
「本市のまちづくりは、寝屋川市駅東地区・香里園駅東地区再開発・寝屋川市駅東地区再開発・寝屋川市駅東地区再開発などの大型開発事業優先になっている。寝屋川市は、かつて5万人都市といわれていたが、現在は4万人を少し上まわる程の人口減少となっている。また、働き盛り世帯の転出が多いのが特徴となっている」として、①再

開発や区画整理は、小規模地権者を追い出すことになる。②駅前の基盤整備をおこなっても人口は増えるとは言えない。③駅前再開発

民が住み続けられるまちづくりこそ行わなければならない。負担が大きい再開発事業は見直すべき」とも述べた。

市民が安心して 移動できるまちに



また、寺本議員は、交通バリアフリーについても質問しました。

「障害者だけでなく、高齢者にとっても安心して暮らせるための環境整備がもたらされている。交通バリアフリーとは、市民がバス利用でも、歩いてでも、車いすでも、赤やん運んでも、行きたい場所に安全に行くことや

介護・障害者施策独自減免を 社保協が市と懇談

7月14日、大阪社会保険推進協議会による対市懇談が開かれまし

た。介護保険料について、大幅値上げで、「高すぎる。わずかな年金から天引きされるのは有無を言わさないやり

方だ。市独自減免制度をつつてほしい」、国民健康保険料について、「支払えない金額の国保料通知が郵送されて、窓口には減免を求める市民が殺到している。支払える保険料に下げること。」

障害者自立支援法では、「障害者や家族に大きく負担がおしつけられている。サービス利用料等の自己負担の市独自の減免制度をつくること。」

生活保護については、「相談を受けて、申請意思があれば、申請書を渡し、受理した上で、調査をすべき」等、要請しました。

日本共産党からは、太田くみ子府政対策委員長、太田とおる党くらし・福祉対策委員長、中谷、田中市会議



市と懇談している社保協の団体と太田くみ子さん(右から2人目)

員が参加しました。

議員日誌



田中 ひさ子

7月16日、市政報告会を開きました。参加された方たちから、ご意見を聞きま

した。住民からは、「生活するために精一杯で、これ以上の負担はできない。一部の人が儲ける土建事業でこ

れ以上借金を増やさず、高い介護保険料を引き下げてほしい。」をもつと建てて欲しい。」などの意見が出されました。

より一層、みなさんの声を市政に反映するため頑張らなければと思いました。